

---



---

 学 会 記 事
 

---



---

## 第 41 回新潟高血圧談話会

日 時 平成 18 年 7 月 28 日 (金)  
午後 6 時 30 分～8 時 30 分

場 所 新潟大学有壬記念館  
2 階大ホール

## I. 一 般 演 題

## 1 仮面高血圧の治療について

演 齊

木戸病院内科

## 1. はじめに

2002 年 Pickering が、外来高血圧が 140/90 mmHg 未満であるのに ABPM で覚醒時の血圧の平均値が 135/85mmHg 以上の症例を仮面高血圧と呼称した。仮面高血圧は、正常血圧や白衣高血圧に比べて、コントロールされていない高血圧と同様に予後不良である。

高血圧治療中の患者の中で仮面高血圧の頻度と対策について検討したので報告する。

## 2. 対象

木戸病院高血圧外来に通院中の患者で、1 年間の外来血圧の平均値が 140/90mmHg 未満で、ABPM の施行に同意された 202 名を対象とした。

## 3. 結果

Ca 拮抗薬、ACE 阻害薬、ARB の単独治療では 62～77% の症例で仮面高血圧を呈した。

降圧薬二種類による併用療法でも 35.1% が仮面高血圧であった。作用機序の異なる降圧剤三剤の併用でも 47.1% が仮面高血圧であった。

Ca 拮抗薬投与 12 例で  $\beta$ -遮断薬の併用による仮面高血圧の頻度の変化を検討したところ、Ca 拮抗薬単独投与では 12 例中 11 例 (91.7%) が仮

面高血圧であったが、 $\beta$ -遮断薬の併用により、12 例中 4 例 (33.3%) に仮面高血圧は減少した。

ABPM を施行した症例中 Ca 拮抗薬と  $\beta$ -遮断薬との併用例は 59 例で、そのうち 18 例 (30.5%) が仮面高血圧であった。

## 4. 考察

仮面高血圧は日常生活におけるストレスや喫煙が原因とされている。

$\beta$ -遮断薬はストレスによる血圧の上昇や運動による血圧の上昇を抑制するので、 $\beta$ -遮断薬が仮面高血圧の減少に寄与したものと考えられる。

今回の検討では、他の降圧剤の併用療法の効果を十分に検討できなかったため、今後その検討を行ってみたい。

## 5. まとめ

高血圧治療は 24 時間を通じての降圧が必要だが、降圧薬の単独投与では 70% 前後が仮面高血圧を呈していた。ABPM のチェックが重要であることが明らかにされた。

仮面高血圧の治療として、Ca 拮抗薬と  $\beta$ -遮断薬の併用が望ましい。

## 2 GABA 含有飲料水と血圧について

渡辺 賢一・井上 幹雄・中野るりこ

文 娟・国崎 恵・水戸沙耶佳

馬 梅蕾・プニヤコッティ T.V.

ナラシマン G.・スレシュ P.S.・パラス P.

ワヘッド M.I.・ファデア K.A.・リヤド A.E.

ベナム H.・平山 匡男\*・小林 隆司\*\*

小山 博史\*\*・神田 光雄\*\*\*

山口 賢一\*\*\*\*

新潟薬科大学大学院薬学系研究科臨床薬理学教室

同 応用生命科学部食品科学科機能性食品開発研究室\*

東京大学大学院医学系研究科クリニカルバイオインフォマティクス研究ユニット臨床情報工学部門\*\*

有限会社ヤスタヨーグルト\*\*\*

新潟大学医歯学総合研究科内部環境医学講座\*\*\*\*

【目的】  $\gamma$ -aminobutyric acid (GABA)・リンゴ酢